

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立愛珠幼稚園 学校協議会

## 1 総括についての評価

○アンケート結果から、園の教育に対する姿勢が保護者に深く理解されていることが伺える。全ての項目で高い肯定的答の割合が出ていることが評価として表れていると言える。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ① 保護者アンケートで、「幼稚園は、お子様が生活の中で安全に過ごそうとする気持ちがもてるように指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を 60% にする。
- ② 保護者アンケートで、「幼稚園は、身の回りの始末や整理整頓をする習慣が身につくような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を 50% 以上にする。

## 【安全・安心な教育の推進】

- ① 2月のアンケートで、「幼稚園は、お子様が生活の中で安全に過ごそうとする気持ちがもてるように指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合は 100% であった。
- ② 2月のアンケートで、「幼稚園は、社会生活に必要な習慣(身の回りの始末や整理整頓など)や態度(物を大事にするなど)を身につけるような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合は 94% であった。

○実態に沿った総合的な教育を実践することが子どもの育ちにつながっていると考える。

○幼児の実態に即した安全な環境、適切な指導の大切さを確認できた。

○行政機関（大阪府警・東警察署・中央区役所）と連携した安全指導は啓発としても大変効果的である。幼児や保護者が毎回、新鮮な気持ちで参加できるように、年度によってそれぞれの機関に依頼する時期と内容と変えていく。

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 保護者アンケートで、「お子様は、様々な活動を通して、自分なりに表現することを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合を 60% 以上にする。
- ② 保護者アンケートで、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合を 70% 以上にする。
- ③ 保護者アンケートで、「お子様は、基本的生活習慣が身に付いていますか（手洗いや食事等）」の項目について、「そう思う」の割合を 50% 以上にする。

## 【未来を切り開く学力・体力の向上】

- ① 2月の保護者アンケートで、「お子様は、様々な活動を通して、自分なりに表現することを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合が 92% であった。
- ② 2月の保護者アンケートで、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合が 98% であった。
- ③ 2月の保護者アンケートで、「お子様は、基本的生活習慣が身に付いていますか（手洗いや食事等）」の項目について、「そう思う」の割合が 90% であった。

- 子どもの成長が綿密な指導計画に裏付けされたものであることがよく分かった。
- 写真や映像の影響は大きい、実際の視覚物があることで発信できる。啓発の方法や参観のもち方も工夫するとよい。

**年度目標：【学びを支える教育環境の充実】**

- ① 教職員アンケートで、「校務支援システム（SKIP ポータル）校務機能・帳票、新ホームページ等、ICT を活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」の項目について、「そう思う」の割合を 70%以上にする。
- ② 教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」の項目について、「そう思う」の割合を 70%以上にする。
- ③ 保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」の項目について、「そう思う」の割合を同程度 80%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ① 2月の教職員アンケートで、「校務支援システム（SKIP ポータル）校務機能・帳票、新ホームページ等、ICT を活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」の項目について「そう思う」の割合は 88%であった。
- ② 2月の教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」の項目について、「そう思う」の割合は 100%であった。
- ③ 2月の保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」の項目について、「そう思う」の割合は 92%であった。

- 先生方の努力や成果は大きい。負担軽減、働き方改革については、園内でできることと行政と連携しなければできないことがある。簡素化できるものが必要である。教育委員会等関係機関への提出書類も非常に多いと考える。業務の精査は現場だけではなく行政とともにしていくべきものと考える。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- 今後も見通しのある教育活動を展開できるよう、活動の精選や実施時期等を再考しながら、子どもたちにふさわしい幼児期の学びを保証できるよう取り組んでほしい。
- 負担軽減、業務の効率化は園内でも精査すべきだが、現場だけで解決できるものではない。業務の軽減、よりよい組織づくりとなり、制度として反映できるように、行政・関係機関と精査していくべきと考える。